

**FOR IMMEDIATE RELEASE**

Equis が青森県にある太陽光発電所（5.7MW）の商業運転開始

（2017年5月23日）

エクイスエナジー（代表者：アダム・バリーン 本社：東京都港区、以下 Equis）は、青森県上北郡にて榎林/蛭沢太陽光発電所（計 5.7MW）の商業運転を開始いたしました。Equis は日本最大級の再生可能エネルギー事業者の一つで、太陽光および風力事業につき、開発、建設、運営管理を自社で一気通貫型に行っております。

Equis は、日本国内に総計 0.9GW にのぼる 40 件以上の案件を保持しており、この他にも総容量 1.3GW 分の案件を現在開発中です。東京本社をはじめとし、青森県七戸町、福島県福島市、茨城県笠間市に事業所を構え、開発、設計、プロジェクト管理を行う経験豊かなエンジニア陣や投資のプロフェッショナルによるスタッフを 60 名以上雇用しております。

Equis の日本代表であるアダム・バリーンは、次のように述べました。

「再生可能エネルギーは日本の将来を環境、経済の両面で支えるものとなります。今回新たに操業を開始した上北郡にある榎林/蛭沢太陽光発電所でも、安価でクリーンなエネルギーを供給することができ、地域の皆様に貢献できることを大変嬉しく感じております。」

今回商業運転を開始した「榎林/蛭沢太陽光発電所」では、年間計 6,840MWh を発電します。これは、年間 1,297 世帯に供給可能な発電量に相当し、3,769 トンの CO2 削減、640 万リットルの節水効果をもたらします。

**Equis Energy (エクイスエナジー)について**

シンガポールに本社を置くエクイスエナジーは、アジア太平洋地域に15のオフィスを展開し、100名の専門技術者および35名の現地開発に精通した開発要員を含む、272名のスタッフを雇用しています。エクイスエナジーは、発電容量ベースでアジア太平洋地域最大の再生可能エネルギー独立系発電事業者(IPP)であり、インド、インドネシア、オーストラリア、タイ、フィリピン、台湾および日本に跨って、合計4.7 GWにのぼる102カ所の再生可能エネルギー発電事業を保有しています。また、現在の4.7 GWのポートフォリオに加え、エクイスエナジーはさらに71件（計6.3 GW）の案件を開発中です。

本プレスリリースに関してのお問い合わせはこちらまで：[inquiries@nipponenergy.co.jp](mailto:inquiries@nipponenergy.co.jp)